

地域(区)における自治の深化に向けて<区民との協働>

区自治協議会とのさらなる協働の推進

2 連携によるまちづくり (1) 区政運営にかかる評価の仕組みづくり

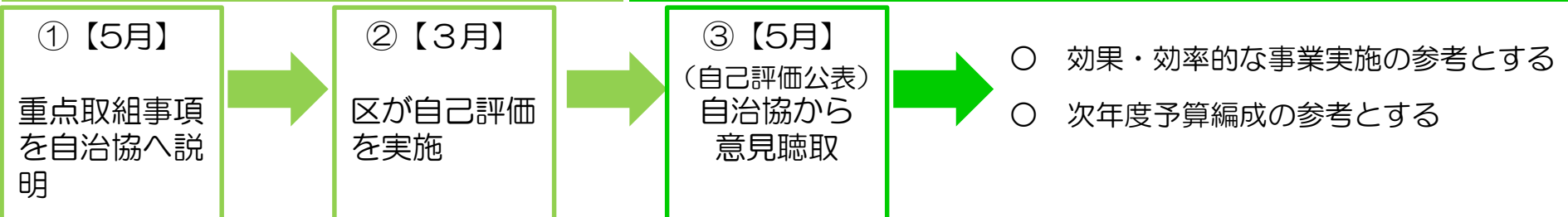
区政運営にかかる評価の仕組み (案)

対象	区の重点取組事項	定義	<p>【評価の定義】区が自ら行う区役所評価の透明性と客観性を高め、今後の区政運営の参考とするため、協働の要である区自治協議会から区の自己評価の妥当性を確認してもらうとともに、必要に応じて改善すべき点などについて意見を聴取する。(参考意見聴取)</p> <p>区自治協議会条例第7条の規定により意見を述べることをもって評価とする。</p>
方法	区の自己評価を補う形で区自治協議会より意見聴取		

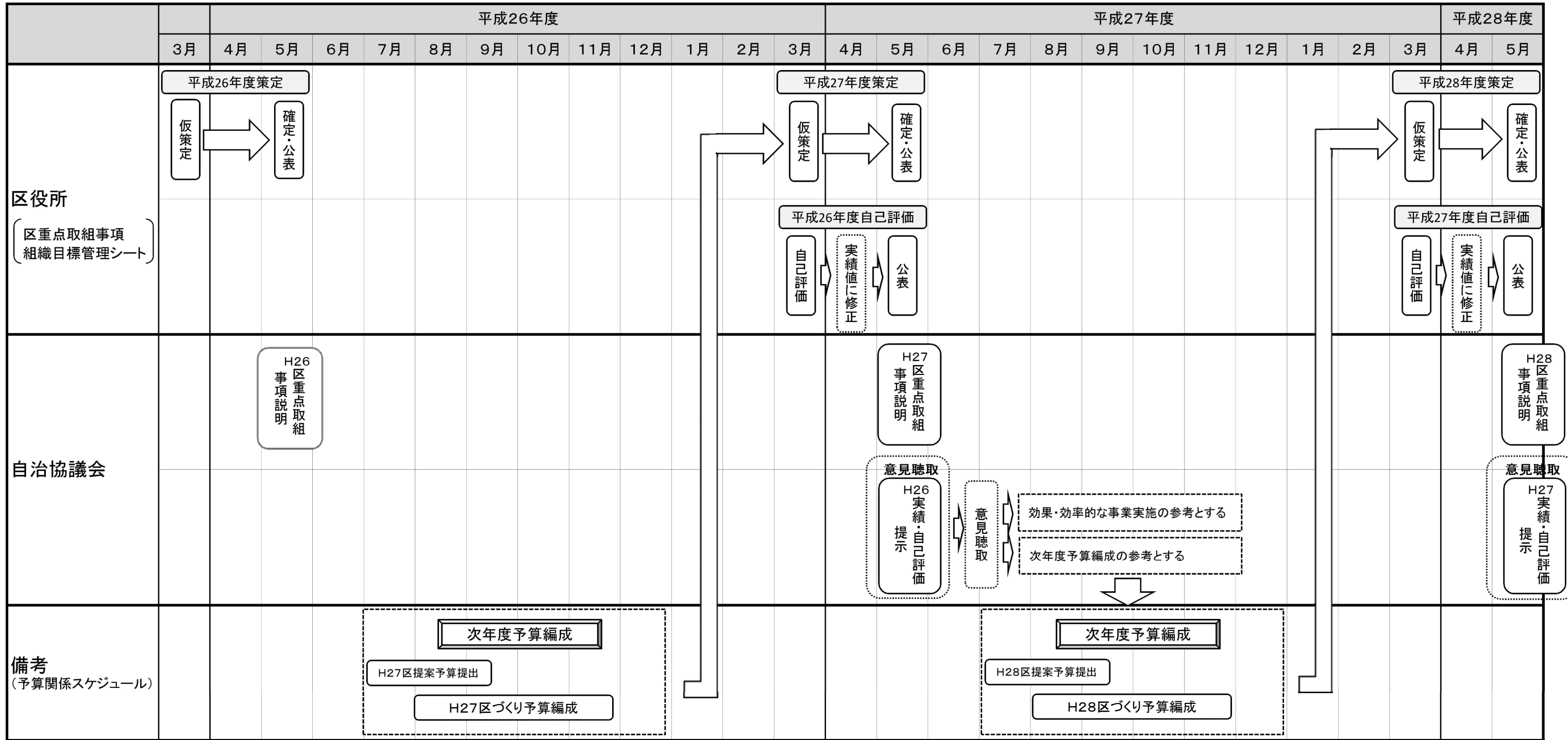
スケジュール (案)

現年度 (平成26年度)

次年度 (平成27年度)



区政運営にかかる意見聴取スケジュール(案)



平成26年度「西区」経営方針

西区長 眞島 幸平

経営方針

都市部と農村部の共存、豊かな自然環境、高度な学術研究機関の充実などの西区の特性を活かして、区民の皆さまとともに、防災や高齢者・子育て支援に取り組み、安心・安全な暮らしづくりを着実に進めていきます。

都市と農村が共存するなか、大学等との連携を軸に、学術と文化のまちづくりを推進するとともに、生活環境や自然環境の美化・保全に積極的に取り組みます。

また、本市が「大規模農業改革拠点」として「特区」に指定されたことを最大限活用し、農業者の経営基盤強化や6次産業化の推進により、農業を始め地域経済の活性化を進めていきます。

さらに、区民の皆さまから信頼される、はつらつとした区役所づくり進め、「さらなる魅力と活力あふれる西区」を目指します。

この方針のもと、今年度は次の4つの取組を重点的に実施します。

1. 安心・安全な暮らしづくり
2. 都市と農村が共存する学術と文化のまちづくり
3. 環境を大切にするまちづくり
4. はつらつとした風通しのいい区役所づくり

部区重点取組事項

1 安心・安全な暮らしづくり

現状と課題

西区では、県の新たな津波浸水想定公表や少子高齢化の進展など、地域の安心安全がこれまで以上に求められており、地域の実情に応じた身近な対応が必要とされています。

新たな津波浸水想定で西区では、津波の河川遡上や河川堤防の崩壊により広範囲な浸水が想定され、緊急的な津波浸水対策が必要です。

また、西区の高齢化率は、平成25年度は24.76%でしたが、平成27年度には26.48%になると推計されるなど、超高齢・少子化社会が進展するなかで、地域のつながりの希薄化などにより、高齢者や子育て世帯の孤立化が進み、高齢者等の孤立死、子育てへの不安を抱えた親による児童虐待が課題となっています。

社会的な孤立を防ぎ、誰もが地域社会の一員として、住み慣れた地域で健康で安心して暮らせる地域づくりが必要とされています。

課題解決策

新潟地震から半世紀という節目に合わせ、さらなる地域防災力の強化・充実のため、自主防災組織の自主的な取組みを推進しながら、津波浸水想定地域における防災力強化に向け、地域の避難マップの作成や避難場所の確保など、緊急的な対策を実施します。

また、住民自治の要である地域コミュニティ協議会の活動を支援することにより、地域課題の解決を図るとともに、地域全体で高齢者を見守るセーフティネットの充実を図り、住民主体の見守り活動及び孤立しがちな高齢者等の訪問を進めます。

さらに、健康寿命の延伸を目指し、高齢者を対象に、多様なニーズに対応できる健康教室を開催するほか、育児上の不安・孤独感の軽減に努めるなど、すべての区民の皆さまが安心して心豊かに暮らせるまちづくりを進めます。

取組事項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 自主防災組織結成への支援 (2) 地域住民とともにつくる地域の避難マップ (3) 津波避難ビルなど緊急避難場所の指定 (4) 西区コミュニティ協議会支援チームによるコミ協支援事業の実施 (5) 区民の皆さまとの協働による要援護世帯宅前の除雪の推進 (6) 地域福祉計画の策定 (7) 住民主体の見守り活動の推進、孤立しがちな高齢者等の掘り起こし及び支援 (8) 地域で取り組む健康づくりと介護予防 (9) 地域と連携して取り組む子育て支援
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・新・新潟市総合計画 ・西区・区ビジョンまちづくり計画 ・西区地域福祉計画（いきいき西区ささえあいプラン） ・行政改革プラン 2013
自己評価	<p>地域住民とともにつくる地域の避難マップづくりを着実に進め、地域の防災力向上を図りましたが、自主防災組織の結成は、消防団組織が充実している地区で結成が進まなかったことや、津波浸水想定の見直しもあり、津波避難ビル指定は、目標数に至りませんでした。今後も、自主防災組織の質の向上を図るとともに、県による津波想定の見直しに対応した津波避難ビル・場所の指定を進め、区全体の防災力の強化に努めます。</p> <p>コミュニティ協議会への支援については、コミュニティ協議会の地域課題の解決能力の向上を図るため、公民館と協力して、研修会や講演会を開催しました。引き続き、地域の人材育成とコミュニティ協議会の活性化を進めます。</p> <p>孤立しがちな高齢者への支援については、自治会、地域包括支援センター、社会福祉協議会等と連携をとりながら保健師が訪問するなど、取り組みを進めてきました。今後は、一人暮らしだけでなく、高齢者二世帯への訪問・支援を行うとともに、地域包括ケアシステムの構築に向け、「高齢者を地域で支えるモデル事業」を進めます。</p> <p>また、高齢者や障がい者を対象とした「除雪要援護世帯西区モデル事業」は、地域の人員確保が課題であることから、事業の浸透を図っていきます。</p> <p>子育て支援事業や健康づくり教室については、地域団体や公民館等の協力もあり、昨年を上回る多くの区民から参加いただきました。今後も、子育て講座の募集方法や会期数の改善を図るとともに、健康づくり自主グループの育成と継続活動を支援するなど、多世代の健やかな暮らしづくりを進めます。</p>

2 都市と農村が共存する学術と文化のまちづくり	
現状と課題	<p>西区は、良好な住宅地や商業施設が集積する一方、農地が区の面積の半分を占めており、都市部と農村部がバランス良く共存しています。また、新潟大学を始め、高度な学術研究機関も充実するなど、都市と農村が共存する、学術・文化のまちづくりを推進しています。</p> <p>都市と農村の相互交流を深めることにより、区の一体感づくりや特産農産物の県内外への消費拡大や6次産業化の推進を図るほか、個々に魅力ある多くの観光資源を活用し、ニーズにあったルートづくりや環境整備を進め、交流人口の増大や「西区の宝」の再認識に繋げていく必要があります。</p> <p>一方、大型店舗進出や店主高齢化・後継者不足などにより、衰退傾向にある地域の商店街の活性化を図るために、商店街組織と行政が一体となった施策が求められています。</p>
課題解決策	<p>学術と文化のまちである西区の特性を活かして、区内各地の公園や市民会館といった公共施設を活用し、大学や地域住民、農業従事者とも連携して、各種イベントや都市と農村の交流を促進する事業を展開し、区民同士や都市と農村が交流できる機会を拡大します。さらに、西区の特産物を首都圏にアピールしていきます。</p> <p>西区の魅力である「佐潟」などを中心とした観光資源（史跡、食、自然景観）、とりわけ「食（農産物に加え、海産物、酒、郷土料理など）」と「自然環境（海、潟、川、農地など）」の魅力についての情報を発信します。さらに、地域や他区とも連携し、ボランティアガイドと協働で、交流人口の拡大を図ります。</p> <p>また、「西区拠点商業活性化推進事業計画」の策定を進め、商工会及び商店街組織と行政が一体となって商店街活性化に取り組みます。</p>
取組事項	<ol style="list-style-type: none"> (1) 多様な大学連携事業の推進 (2) 大学・地域と連携した文化・スポーツ事業の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ふれ！ふれ！西区ふれあいまつり ・アートプロジェクト（音楽・造形） ・アクティブスポーツプロジェクト (3) 農業まつりによる都市生活者と生産者の交流推進 (4) 首都圏での西区特産品の知名度向上と消費拡大 (5) 「特区」を活用した農業基盤強化と6次産業化の推進 (6) 佐潟を中心とした観光資源の有効活用による観光客誘客と地域活性化 (7) 西区拠点商業活性化推進事業計画の策定
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・新・新潟市総合計画 ・西区・区ビジョンまちづくり計画

自己評価	<p>大学との連携事業については、今年度実施した新規事業 5 件を含め、今後とも事業効果が見込まれる分野で、積極的に大学連携を促進していきます。</p> <p>「ふれ！ふれ！西区ふれあいまつり」や農業まつりについては、天候の要因もあり来場者数が目標に達しませんでした。今後も企画内容を工夫するなど、西区の魅力を周知するとともに、区民の一体感醸成と都市と農村の交流を図ります。</p> <p>西区特産品の首都圏での PR は、複数回行うことで前年度を大幅に上回る方が来場されました。今後も、地場農産物の PR を効果的に行い、地産地消の拡大に努めるとともに、首都圏や市外における知名度向上と消費拡大を図ります。また、今年度策定した「西区拠点商業活性化推進事業計画」を基に、各商工会と連携しながら、商店街活性化を推進します。</p> <p>「北国街道」などの観光資源を活かしたツアーやボランティアガイドによるまち歩きは、目標値を大きく上回りました。今後も、西蒲区と連携を図るとともに、西区内の他の地域への観光客の誘客に繋がる事業を展開し、交流人口の拡大を図ります。</p>
-------------	--

3 環境を大切にすまちづくり	
現状と課題	<p>西区は、長い海岸線、佐潟、西川や新川など、美しい自然環境と豊かな農地にも恵まれており、環境の美化・保全・啓発を通じ、「環境を大切にすまちづくり」を推進しています。</p> <p>しかし、海岸保安林では松くい虫被害が増大しており、無人ヘリ防除や伐倒駆除を実施していますが、伐倒駆除未実施区域（9ha）の解消が課題となるとともに、国道 402 号の飛砂への対策も急務となっています。</p> <p>西川・新川については、ごみの不法投棄が依然として発生しており、自治会・町内会と連携を強め、協働で環境美化活動や自然環境の保全活動に取り組む必要があります。</p> <p>佐潟では、「佐潟水鳥・湿地センター」の来館者が、ここ数年 7 万人を割り込んでおり、ボランティア解説員の登録・活動の低迷にもつながっています。</p>
課題解決策	<p>海岸保安林については、地権者同意を得られていない伐倒駆除未実施区域を解消するため、同意を得て伐倒駆除範囲を拡大するとともに、保安林保護活動を行っているボランティア団体の育成や参加者の増員を促進し、市民の憩いの場としての保安林の活用を目指します。</p> <p>国道 402 号の飛砂対策については、市民参加を促進するため、これまで実施してきた海浜植物の植栽の効果を検証します。</p> <p>西川・新川については、地域の自主的な環境整備・環境美化活動への支援を強化するとともに、自治会・町内会やコミュニティ協議会・関係団体などと連携して西区全域の環境美化活動に取り組み、より多くの区民、団体に参加してもらうことにより、環境美化や区民一人ひとりの環境保全意識の醸成を図ります。</p> <p>佐潟については、ボランティア解説員の活動の活発化や佐潟水鳥・湿地センターを拠点にした各種企画を実施することにより来館者数の増加を図り、佐潟への関心や理解の浸透を図ります。</p>
取組事項	<ol style="list-style-type: none"> (1) 海岸保安林伐倒駆除未実施区域解消 (2) 地域住民と協働で推進する国道 402 号の飛砂対策 (3) 佐潟水鳥・湿地センターを拠点としたボランティア活動の活性化 (4) 西区全体で取り組む西区一斉クリーンデーへの協力・支援 (5) 地域で取り組むボランティア清掃及び西川・新川の清掃活動への協力・支援 (6) 西区役所庁舎の紙資源回収の徹底

計画	<ul style="list-style-type: none"> ・新・新潟市総合計画 ・西区・区ビジョンまちづくり計画 ・佐潟周辺自然環境保全計画
-----------	---

自己評価	<p>飛砂対策については、海浜植物の植栽の面積が目標値を大きく上回りました。今年度から着手している人工堤防の築造と併せ、植栽面積を A=9,496 m²に拡大し、完了時期を1年前倒して実施します。</p> <p>また、海岸保安林の松くい虫対策についても、伐倒駆除未実施区域の地権者合意を着実に進めるなど、海岸地区の環境保全を推進しました。</p> <p>環境美化については、多くの自治会や団体からボランティア清掃に参加していただきました。西区一斉クリーンデーの参加者数が前年度を下回ったことから、コミュニティ協議会や自治会等の協力・賛同を得られるよう、引き続き、働きかけていきます。また、職員の環境意識についても、紙類資源回収率増の目標が未達成だったことから、更なる職員の意識啓発を図ります。</p> <p>佐潟水鳥・湿地センターの来館者は、新潟デスティネーションキャンペーンもあり、目標値を大きく上回りました。27年度は佐潟公園が水と土の芸術祭の会場の一つとなることから、ボランティア解説員の活動を一層推進するとともに各種企画展などを展開していきます。</p>
-------------	--

4 はつらつとした風通しのいい区役所づくり	
現状と課題	<p>平成26年1月、「笑顔があふれ、環境に優しく、災害に備えた、あたらしい西区役所」をキャッチフレーズに、西区役所新庁舎がオープンしました。開庁にあたっては、「西区が目指す職員像（①区民から信頼される職員②区民と協働する職員③チャレンジする職員）」や、西区サービス憲章における「笑顔を増やすために目指す職員像（①サポートの達人②チームワークの達人③地域の達人）」を目指しながら、特に「接遇能力向上」を図る研修に力を入れてきました。</p> <p>区民の皆さまからは、新庁舎に相応しい一層質の高いサービスが求められるとともに、市民サービス向上に終着点は無いため、絶えずチェック&アクションを続ける必要があります。</p>
課題解決策	<p>西区では、「はつらつとした風通しのいい区役所づくり」を重点項目に、区職員の明るく、生き生きとした接遇の向上を目指しています。新庁舎1階で総合案内を務める「案内係」は、区の窓口サービスの評価を大きく左右する、まさに「西区役所の顔」であることから、「案内係」の一層のスキルアップに努めます。</p> <p>同様に、区職員一人ひとりについても、笑顔で、お客様の立場に立った接遇の向上のために、区職員窓口案内研修体験など、区独自の人材育成メニューを実施し、「笑顔づくり、元気なあいさつ」運動を展開します。</p> <p>また、区民の皆さまの活動支援、区民協働の拠点となる区役所をポイントの一つとして掲げた西区役所新庁舎の特性を最大限に活かし、ギャラリー展示や、大学連携によるミニコンサートを開催し、区役所に多面的な機能を持たせ厚みのある区役所づくりを行います。</p>
取組事項	<ol style="list-style-type: none"> (1) 「市民の笑顔倍増」に向けた質の高い市民サービスの提供 (2) 窓口接遇能力の向上 (3) 区独自の人材育成事業

計画	<p>・行政改革プラン 2013</p>
自己評価	<p>市民満足度の向上を図るため実施している「窓口アンケート」の評価について、得点は毎年度上昇していますが、目標にはわずかに達しませんでした。来庁される方の満足度がより向上するよう、そして、窓口改善運動の成果についてより多くの来庁者のみならず職員も実感できるよう、現在実施している接遇研修や窓口改善をさらに重ねていきます。</p> <p>また、職員の能力向上のため、接遇能力向上研修など西区独自の研修を実施しました。今後とも研修結果を活かし、職員の接遇能力のさらなる向上や職員の意識改革に繋げ、「はつらつとした風通しのいい区役所づくり」を進めていきます。</p>

重点取組事項管理シート(平成26年度「西区」)

※各課組織目標管理シートから重点取組事項に該当する項目を抜粋したものの

1. 安心・安全な暮らしづくり

No.	重点	視点	目標	指標					主な取り組み内容	目標達成状況 未達成理由	評価			
				項目	H23実績	H24実績	H25実績	H26目標				H26結果		
1	1	市民 (顧客)	「災害に強いまちづくり」を目指し、自主防災組織結成の働きかけを積極的に行います。	自主防災組織結成率(%)	80.9	81.8	83.0	88.0	87.2	・連合組織は連合内の全ての自治会をまとめて1組織とする。 ・連合にも属するが、単独でも自主防災組織を結成しているところは、連合組織とは別に1組織とする。	・自主防災組織の活動把握 ・文書、電話による働きかけ ・自主防災体制の充実に向けた資機材、経費の一部補助 ・リーダー実技講習会	・自主防災組織結成率については、継続した働きかけにより、結成に至った地区があった一方、既に消防団組織が充実している地域で結成に至りませんでした。	未達成	
2	1	市民 (顧客)	災害対策として、津波浸水想定や液状化しやすさのデータを利用するなど、地域の避難マップづくりを行います。	地域の避難マップ(データ)作成数	3	2	1	10	10	・自治会・町内会やコミュニティ協議会を単位として作成する。 ・ワークショップを開催し、地域の方の情報や意向を取り入れ作成する。	・コミュニティ協議会の会議などで説明 ・作成計画に基づき、各地域に直接働きかけ		達成	
3	1	市民 (顧客)	災害対策として、民間施設を津波避難ビルなどの緊急避難場所として指定を行います。	協定に基づく民間施設の緊急避難場所の指定数	0	5	2	5	3	・平成24年度に、津波浸水区域内の学校を中心とした市施設を、津波避難ビルとして指定した。	・高台の広い駐車場や3階以上などの建物を所有する民間事業者に対し、津波浸水想定などの内容や指定の必要性を説明	・新たな津波浸水想定の見直しについては、現在新潟県で検討中です。 ・防災対策の緊急性から、津波などの避難場所を地域とともに5か所指定を進めましたが、3か所で協定を締結し、1か所で締結見込みとなっています。	未達成	
4	1	業務改善	地域課題の解決のため、西区コミュニティ協議会支援チームでコミ協の事業支援を行うとともに、地域と連携した課題解決のスキルを学ぶ講座を開催します。	事業支援(件)	7	7	7	7	8	・事業提案、企画参画、共同開催等の件数 ・公募による地域デザイン講座、コミ協を対象とした研修会等の実施回数	・計画段階からの協議参画、事業提案 ・自治会研修、地域デザイン講座、同ジュニア版等の開催	事業支援については、8件行い目標を達成しました。講座・研修会等についても、デザイン講座ジュニア版1回、デザイン講座8回、デザイン講座実践編6回、地域福祉計画WG参画7回、合計22回行いました。	達成	
5	1	市民 (顧客)	高齢者や障がい者など自宅前の除雪が自力では困難な世帯を、地域が除雪する活動を推進します。	除雪要援護世帯助成金登録団体数(世帯)		1(27)	11(122)	15(150)	13(164)	・平成24年度に創設した西区モデル事業	自治会のほか、大学や小中学校PTAへの除雪団体登録の働きかけ	団体内で5名以上の人員を常時確保することが困難だったことなどから、達成できませんでした。	未達成	
6	1	市民 (顧客)	平成26年度で計画期間が終了する地域福祉計画の次期計画策定に取り組みます。	推進委員会の開催数(回)				4	4		○推進委員会での意見を踏まえて検討、策定		達成	
7	1	市民 (顧客)	高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、地域住民主体の活動の推進、孤立しがちな高齢者等の掘り起こし及び支援を進めます。	高齢者等あんしん見守り活動事業(自治会数)	1	3	6	8	8		○ささえあい見守り事業 ・高齢者等あんしん見守り活動事業 ・既に積極的な活動を行っている団体の選定及び活動支援 ・家庭訪問 身近な保健指導(相談・助言) 保健福祉サービス等情報提供 孤立ゼロ作戦訪問事業	75歳以上の一人暮らし世帯を重点的に、保健師が地域包括支援センターと連携をとりながら訪問してきました。	達成	
8	1	市民 (顧客)	健康寿命の延伸を目指し、運動習慣の定着、食生活の改善を図り、健康づくりを推進します。	ウォーキング講習会 ・開催回数(回) ・参加者延べ人数(人)			8	167	180	11	新潟大学との連携で実施	○いきいき高齢者を目指そう作戦 ・高齢者転倒予防教室 ・高齢者の体操教室 ・地域で取り組むラジオ体操 ・ウォーキング講習会 ・自ら進める健康づくり教室 ・自主グループの育成支援	高齢者体操教室については、高齢者が身近な地域で継続できるように、老人憩の家を会場に実施してきました。	達成
9	1	市民 (顧客)	子育て中の親の孤独感、不安感を軽減させ、虐待のない健全な子育てを支援するために、対象年齢の異なる2種類の育児支援プログラムを実施し、多世代との交流の場を提供します。	支援プログラムの参加者数(組)			25	40	48	・BP(ベビープログラム)プログラム参加30組 初めて親となった2〜6か月児の親子を対象 ・NP(Nobody's Perfect)プログラム参加10組 2歳児の親子を対象	○しあわせ親子育成事業 ・育児支援プログラムの実施 ・子育て情報誌の発行 ・西っ子ふゆまつり	BPプログラムを3クールに増やし、年間を通じた子育て支援を実施してきました。	達成	
				西っ子ふゆまつりの参加者数(人)	2,600	2,700	2,600	2,700	2,700					

2. 都市と農村が共存する学術と文化のまちづくり

No.	重点	視点	目標	指標					主な取り組み内容	目標達成状況 未達成理由	評価			
				項目	H23実績	H24実績	H25実績	H26目標				H26結果		
1	2	市民 (顧客)	区ビジョンに掲げる「学術と文化のまち」を一層推進するため、多様な「大学連携」事業を推進します。	大学との連携事業数	21件	25件	24件	25件	26件	・各所属既存、新規事業に大学と連携した要素を取り入れる。	・西区アートプロジェクト(造形・音楽) ・いきいき高齢者を目指そう作戦など	大学と連携して新規事業を含む、26件の事業を行い目標を達成しました。	達成	
2	2	市民 (顧客)	西区の一体感を醸成するため、区民が家族連れで参加し交流できる事業や、大学・地域と連携した文化・スポーツ事業を実施します。	ふれ！ふれ！西区ふれあいまつり来場者数、アートプロジェクト及びアクティブスポーツ参加者数	11,227人	11,261人	10,672人	11,000人	10,623人	・ふれあいまつり、地域と大学連携プロジェクト音楽・造形部門、健康部門アクティブスポーツ編の参加者数	・ふれあいまつり(期間:1日) ・アートプロジェクト(音楽・造形) ・アクティブスポーツ	各種事業の来場者数・参加者数の合計で、目標は達成できませんでした。要因は、ふれあいまつりの天候不良による来場者減によるものと思われます。	未達成	
3	2	市民 (顧客)	都市と農村の交流と地場産農産物の周知を図り、消費の拡大を図ります。	農業まつり来場者数(人)	21,135	19,714	22,229	22,500	21,600	すいか6,000 茶豆12,000 収穫祭4,500	・特産品ごとに農業まつりを開催 ・すいかまつり(6,500人) ・茶豆まつり(10,600人) ・秋の収穫祭(4,500人)	○計画どおり農業まつりを3回開催しました。来場者数が天候の要因もあり目標に達しない事業があったことから全体では未達成となりました。	未達成	
4	2	市民 (顧客)	西区特産品の首都圏での知名度向上と消費拡大を図ります。	・首都圏向けPRの取組(回) ・ネスバス来場者数(人)			2	5,000	7,500	4	19,000	・ネスバス、ねぎサミット、市場関係者会議、首都圏での販売促進によるPR	○市場関係者会議での販売促進やネスバス出店など首都圏でのPRを実施し市外での知名度向上に努めました。	達成
5	2	市民 (顧客)	赤塚地区の「北国街道」沿いにある観光資源を活用し、西蒲区と連携したコースづくりやボランティアガイドの活用などにより、観光客の誘客を図ります。	・ツアーの実施(回) ・ボランティアガイドの案内人数(人)			1	350	500	2	765	・歩いて見つける！北国街道おもてなし事業 ・ツアーの実施 ・ボランティアガイドを活用した「まち歩き」案内を実施	○ツアーの回数、ボランティアガイドの案内者数いずれも目標を上回ることができ、交流人口の拡大に努めました。	達成
6	2	市民 (顧客)	西区の商業の活性化を実現するため、拠点商業活性化推進計画策定を進めます。	西区拠点商業活性化推進計画策定			検討委員会開催 3回	計画策定完了	計画策定完了			・西区拠点商業活性化推進計画策定 ・検討委員会を開催 ・推進計画の策定	○H25年度3回、H26年度2回検討委員会を開催し、目標どおり計画策定を完了しました。	達成

3. 環境を大切にすまちづくり

No.	重点	視点	目標	指標					主な取り組み内容	目標達成状況 未達成理由	評価		
				項目	H23実績	H24実績	H25実績	H26目標				H26結果	補足・参考指標
1	3	市民 (顧客)	海岸保安林の保全・育成のため、伐倒駆除未実施区域(9ha)を3年間で解消を進めます。	伐倒駆除未実施区域(9ha)を3年間で解消				3	13	3(ha)	伐倒駆除未実施区域の地権者交渉	松くい虫被害の拡大が見られるため、伐倒駆除未実施区域の解消に向け地権者交渉を進め、当初計画の9haを前倒しし、さらに4ha拡大して地権者合意を得ました。	達成
2	3	市民 (顧客)	小針青山海岸周辺地区における緊急輸送路の機能を確保するため、国道402号の飛砂対策を講じます。	地元と協働で行う海浜植物の植栽面積(m ²)	100	854	2,432	4,700	5,470	・平成23年度からなぎさふれあい広場において、海浜植物の植栽と垣を設置している。 ・指標は累積面積 ・全体植栽面積 A=9,405m ² ・実施期間 H23～H28年度	・勉強会の開催 ・市民と協働による海浜植物の植栽	目標を達成しました。	達成
3	3	市民 (顧客)	佐潟を通じて、自然環境への理解を深めるとともに、佐潟水鳥・湿地センターを拠点としたボランティア活動の活性化に努めます。	佐潟水鳥・湿地センターへの来館者数	65,711人	67,603人	62,557人	63,000人	69,858人	近年減少傾向にありますが、今年度は新潟ステーションキャンペーンの会場のひとつとなっていることから、多くの来館者を予定したい。	・佐潟ボランティア解説員の運用 ・佐潟水鳥・湿地センターを拠点とした啓発活動の実施 ・各種イベントでのPR ・里潟づくりの推進	新潟ステーションキャンペーンによる影響もあり、目標来館者数を大きく上回ることができました。	達成
4	3	市民 (顧客)	コミュニティ協議会等が実施する西区一斉クリーンデーに協力・支援を行うなど、環境美化に努めます。	西区一斉クリーンデーへの参加人数(人)	3,671	4,767	5,630	5,700以上	5,586	各コミュニティ協議会や新潟大学実行委員会等が参加	ポスター・チラシの作成・配布、広報紙への掲載など ごみ袋等の配布、ごみ回収の依頼等	事前に受け付けた参加予定者数は目標値を上回っていましたが、一部自治会で前倒して清掃を行った地域があり、結果的に目標達成に至りませんでした。	未達成
5	3	市民 (顧客)	自治会、民間団体等が実施するボランティア清掃や、西川、新川の清掃活動に協力・支援を行い、区内の環境美化に努めます。	ボランティア清掃への支援件数(件)	234	271	296	300	318		ボランティア清掃活動への支援	ボランティア清掃の趣旨が浸透してきており、多くの自治会やボランティア団体等に実施していただけました。	達成
6	3	財務 改善	温室効果ガスの削減と環境保全に向け、ゴミの分別徹底により、紙類の資源回収率を高めます。	紙類資源回収率(%) (H25年度比0.4%増)	83.3	83.8	86.1	86.5	81.8	・ゴミ分別の徹底し、紙類の資源回収率の計測を継続して行いながら、定期的に各課ごとに実績を比較する。	・年2回の分別状況調査 ・調査結果のフィードバック	・25年度は、庁舎移転の際に紙類資源ゴミが大量に出され、回収率が上がった一方、26年度は平年化されたため、前年度実績を下回りました。	未達成

4. はつらつとした風通しのいい区役所づくり

No.	重点	視点	目標	指標					主な取り組み内容	目標達成状況 未達成理由	評価			
				項目	H23実績	H24実績	H25実績	H26目標				H26結果	補足・参考指標	
1	4	人材 育成	西区サービス憲章に掲げる「市民の笑顔倍増」に向けて、質の高いまごころのこもった市民サービスを行います。	窓口職員接遇研修会への参加職員数(人)	9 (西区6人 人事課3人)	4 (西区4人)	42 (西区42人)	44	44	非常勤も含め、全職員が受講	西区総務課や人事課の開催する接遇関係の研修に参加	日程を調整し全職員が研修を受講できました。	達成	
2	4	市民 (顧客)	市民ニーズに的確に応じられるよう窓口対応の充実に努め、市民サービスの向上を目指します。	窓口アンケート年度平均点(点)	4.39 (1回目:4.35) (2回目:4.42)	4.46 (1回目:4.31) (2回目:4.60)	4.56 (1回目:4.56) (2回目:4.56)	4.60以上	4.59 (1回目:4.58) (2回目:4.59)	・5点満点	フィールドイノベーション活動スキルアップのための業務に関する研修の受講	過去最高評価を得たものの、目標にはわずかに届きませんでした。	未達成	
3	4	人材 育成	市民満足度向上のため、職員の窓口対応能力を高め、併せて見識を広め資質向上にも努めます。	研修会参加延べ回数	8	15	18	18	46	一人平均1回以上	各種業務研修・接遇研修他	目標値を上回りました。	達成	
4	4	人材 育成	職員の窓口対応能力の向上に努めます。	各種研修会、講習会等への参加(回)	6	10	18	18	20		各種研修会・講習会への参加	目標を上回る研修等に参加しました。	達成	
5	4	人材 育成	「はつらつとした、風通しのいい区役所づくり」を推進するため、区独自の人材育成を実施します。	区独自の研修会実施回数	12	11	20	21	25		・窓口対応実地研修 ・接遇能力向上研修 ・新規・異動職員研修 ・応急手当講習 ほか	・予定していた研修は全て実施したものの、各研修における参加者が、目標よりも若干下回ったものです。	未達成	
				区独自の研修会参加者数	278	279	372	920	905					

平成 27 年度 西区長マニフェスト

西区長 眞島 幸平

マニフェスト

「都市と農村が融合する、うるおいの住環境と優れた学術環境に育まれるまち」を目指し、人と人とのつながりのなかで、区民が健やかにいきいきと、安心・安全に暮らせるまち、そして、誰もが学び合い、その学びを地域に活かせるまちづくりを推進します。

また、農商工が連携して地場産農産物のブランド化を推進し、生産及び消費の拡大を図るとともに、商店街の活性化や都市と農村の一体感の醸成に繋げていきます。そして、西区の豊かな自然・快適な住環境を活かし、行ってみたい、住みたい、住んで良かったと思えるまちづくりに努めます。

さらに、区民と区役所が協働で地域課題に取り組み、区民と職員が共に笑顔になれるまちづくりに取り組みます。

この方針のもと、西区は今年度、次の 5 つの取組を重点的に実施します。

1. 人と人がつながり、安心・安全に暮らせるまちづくりを推進します。
2. 都市と農村が融合するまちづくりを推進します。
3. だれもが学び合える学術と文化のまちづくりを推進します。
4. 豊かな自然と快適な住環境を大切にするまちづくりを推進します。
5. 地域と区役所が共に歩むまちづくりを推進します。

マニフェスト実現に向けた取り組み

1 人と人がつながり、安心・安全に暮らせるまちづくりを推進します。

現状 (課題)	<p>乳幼児から高齢者まで、毎日をより健やかに、安心して暮らしたいという思いは、区民共通の願いです。</p> <p>しかし、一人暮らし高齢者の増加や核家族化の進行、プライバシーの重視等により地域のつながりが希薄化し、社会から孤立する高齢者や子育て世帯が増えています。</p> <p>また、超高齢社会を迎え、区民が健康で健やかに暮らしていくためには、健康寿命の延伸を図ることが重要です。</p> <p>さらに、安心で安全なまちづくりとして、区内には低地部が多く存在していることから、津波や洪水などの災害から身を守るため、地域特性に応じた情報伝達手段や避難体制を整備する必要があります。</p>	
	課題 解決策	<p>目標 平成 28 年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第 1 次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成</p> <p>高齢者や子育てに不安を抱える親に対し、地域ぐるみで見守り、助け合う仕組みづくりが必要です。</p> <p>保健師などによる高齢者への訪問を継続実施するとともに、地域団体、社会福祉協議会、地域包括支援センター等と協働で、地域で高齢者を支える活動に取り組みます。</p> <p>また、子育て支援体制や子育てネットワークの充実を図ります。</p> <p>超高齢社会において、地域に密着した健康づくりと仲間づくりができ、健康寿命を延伸できるよう、地域や関係機関と連携した健康・介護予防対策を進めます。</p> <p>さらに、洪水や津波浸水などの災害に備え、引き続き、地域と協働で地域の避難マップの作成に取り組むなど、地域防災力の強化を図ります。</p>

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者等が安心して生活できる仕組みづくり ・ 地域で取り組む健康づくりと介護予防 ・ 地域と連携して取り組む子育て支援 ・ 地域と協働で取り組む地域の避難マップづくり
-------------	--

取組結果	主な取組の指標達成状況	設定数	7	達成数	
今後の方針					

2 都市と農村が融合するまちづくりを推進します。			
現状（課題）	<p>西区は都市と農村がバランスよく共存しており、良好な住宅地や商業施設が集積するなか、「くろさき茶豆」をはじめとする良質で魅力的な農産物に恵まれています。</p> <p>西区の特産農産物については、市内での知名度が高くなっていますが、県内外への更なる知名度の向上及び消費拡大を進める必要があります。</p> <p>また、「大規模農業改革拠点」として「特区」に指定されたことも活用し、農商工連携による特産農産物のブランド化を進めるとともに、商店街の賑わいづくりにつなげ、人の交流、物の交流をさらに活性化する必要があります。</p>		
課題解決策	<table border="1"> <tr> <th>目標</th> <td>平成 28 年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第 1 次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成</td> </tr> </table>	目標	平成 28 年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第 1 次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成
	目標	平成 28 年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第 1 次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成	
<p>農業まつりなどによる地場産農産物の PR をすすめながら、首都圏を含めた県内外への情報発信及び販売促進に取り組みます。</p> <p>農商工連携による「くろさき茶豆」や「いもジェンヌ」などの特産農産物の高付加価値を進め、関係団体が一体となって商店街の活性化にもつなげるとともに、「特区」を活用した 6 次産業化を推進します。</p> <p>また、農業まつりなど交流の場を提供することにより、都市と農村の一体感を醸成し、生産と消費をつなぐ地産地消を推進します。</p>			
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・首都圏での西区特産品の知名度向上と消費拡大 ・西区特産農産物のブランド化による生産及び消費の拡大と商店街活性化 ・農業まつりによる都市と農村の交流推進 		

取組結果	<table border="1"> <tr> <th>主な取組の指標達成状況</th> <th>設定数</th> <td>5</td> <th>達成数</th> <td></td> </tr> </table>	主な取組の指標達成状況	設定数	5	達成数	
	主な取組の指標達成状況	設定数	5	達成数		
<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						
今後の方針	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					

3 だれもが学び合える学術と文化のまちづくりを推進します。			
現状 (課題)	<p>大学など学術研究機関が複数立地する西区の特性を活かし、新潟大学や新潟国際情報大学などと連携し多様な取り組みを進めていく必要があります。</p> <p>地域や大学と行政の協働によるアートイベントやコンサートなど、芸術文化活動が定着してきており、新たな文化の創造をさらに支援する必要があります。</p> <p>また、健康志向の高まりなどにより、これまでも様々なスポーツ活動が行われてきましたが、今後も生涯にわたるスポーツ活動を推進していく必要があります。</p>		
課題 解決策	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center; vertical-align: middle;">目標</td> <td>平成 28 年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第 1 次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成</td> </tr> </table> <p>新潟大学や新潟国際情報大学などとの連携を深め、さまざまな学習情報の提供や気軽に参加できる学習の場の確保など、学習活動に参加できる環境づくりを行うとともに、地域と学生をつなぐ事業を進めるなど、取り組みの幅を広げていきます。</p> <p>また、新たな文化の創造を支援するため、地域での自主的な活動を活性化し、西区の芸術文化を区内外に発信するとともに、区民の芸術文化意識の向上を図ります。</p> <p>子どもの頃からスポーツに接する機会を提供するほか、誰でも気軽にスポーツを楽しむ環境を提供し、多世代の健康づくりを推進します。</p>	目標	平成 28 年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第 1 次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成
目標	平成 28 年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第 1 次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成		
主な 取組	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な大学連携事業の推進 ・大学・地域と連携した文化・スポーツ事業の実施 		

取組 結果	主な取組の指標達成状況	設定数	2	達成数	
今後の 方針					

4 豊かな自然と快適な住環境を大切にすまちづくりを推進します。

現状（課題）

西区は、長い海岸線、佐潟、西川や新川など、豊かな自然環境に恵まれており、「環境を大切にすまちづくり」を推進してきました。

しかし、西川や新川、海岸付近では、ごみの放置や不法投棄が依然として発生しており、環境の改善が求められています。

海岸保安林に拡大する松くい虫被害については、無人ヘリコプター防除や伐倒駆除などの対策を実施していますが、今後も関係機関との連携を強化しながら、被害を抑えていく必要があります。また、保安林の環境保全を行っているボランティア団体やコミュニティ協議会などの支援を継続することも必要です。

国道 402 号の飛砂対策は、飛砂防止柵の設置や地域住民との協働で海浜植物を植栽し、砂丘地の緑地帯整備を推進していますが、交通障害や住宅地への飛砂被害への抜本的な対策が求められています。

また、魅力的な自然や観光資源を有効活用し、ニーズにあった観光ルートや環境整備により誘客に取り組んできましたが、「佐潟」を中心とした魅力ある観光資源のさらなる情報発信や区内他地域のまち歩きコースづくりをすることにより交流人口を拡大していくことが必要とされています。

課題解決策

目標 平成 28 年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第 1 次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成

自治会やコミュニティ協議会、ボランティア団体等と連携して西区全域の環境美化活動に取り組み、より多くの区民、団体に参加してもらうことにより、区民一人ひとりのきれいな西区づくりや環境保全に向けた意識の醸成を図ります。

松くい虫被害を最小限に抑えるため、無人ヘリコプター防除や伐倒駆除を継続実施するとともに、ボランティア団体やコミュニティ協議会などの保安林保全活動への支援を引き続き行います。また、保安林活動団体育成講座を開催しボランティア団体の育成に努めます。

国道 402 号の飛砂対策は、飛砂防止柵の設置や新潟大学等と連携した抜本的な飛砂対策を検討し、より効果的な対策を地域住民・海岸管理者等と一体となって進めていきます。

また、赤塚地区・佐潟周辺について、「北国街道」沿いにある観光資源や貴重な動植物を育む自然環境を活かし、まち歩きツアーや西蒲区と連携したニーズにあったコースづくりを進めるとともに、区内他地域のまち歩きコースづくりを行い、地域団体やボランティアガイドの協力を得ながら、交流人口の拡大を図ります。

主な取組

- ・西区全体で取り組む西区一斉クリーンデーへの協力・支援
- ・海岸保安林の保全・育成活動団体への支援
- ・国道 402 号の飛砂対策の実施
- ・「北国街道」沿線の観光資源を活用した観光客誘致
- ・佐潟を活用した自然保護意識の醸成と交流人口の拡大

取組結果	主な取組の指標達成状況	設定数	6	達成数	

今後の方針	
-------	--

5 地域と区役所が共に歩むまちづくりを推進します。			
現状（課題）	<p>区民等と市との協働の要である区自治協議会とともに、地域のまちづくりや課題に取り組んできましたが、地域課題はますます複雑化、多様化しており、区自治協議会とさらに連携して、区の課題解決やまちづくりに取り組んでいく必要があります。</p> <p>また、多様な人材が地域活動に参画できるよう地域の課題解決に取り組む講座の開催などにより地域活動に関心をもつ人材の育成を進めてきましたが、地域コミュニティ協議会などをはじめとする地域コミュニティでは、活動に参画する人材の確保が課題となっています。</p> <p>平成 26 年 1 月に新庁舎がオープンし、来庁される方から、職員の接遇や利便性が向上したとの声をいただいておりますが、区政に対する区民の要望が高度化・多様化するなか、職員には、より一層質の高いサービスが求められています。市民サービス向上に終着点は無いため、絶えずチェック&アクションを続ける必要があります。</p>		
課題解決策	<table border="1"> <tr> <th>目標</th> <td>平成 28 年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第 1 次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成</td> </tr> </table> <p>複雑化、多様化する地域課題の解決につながるよう、区自治協議会とさらに連携するとともに、協働の要である区自治協議会の活動がより活性化するよう努めます。</p> <p>地域課題の発見や解決に取り組む人材の育成を推進するとともに、地域におけるコミュニティ活動への参画につながる仕組みを検討していきます。</p> <p>また、職員一人ひとりの資質・能力の向上を図るために、「西区役所の顔」である、1 階総合案内の「案内係」の一層のスキルアップに努めるとともに、窓口業務以外の職員に対する総合案内体験研修など、区独自の人材育成メニューを実施します。さらに、「笑顔づくり、元気なあいさつ」運動を展開し、市民満足度の向上及び職員の一体感を図り、「はつらつとした風通しのいい区役所づくり」を目指します。</p>	目標	平成 28 年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第 1 次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成
目標	平成 28 年度までに、「西区・区ビジョンまちづくり計画第 1 次実施計画」のうち、関連する主な取組事項を全て達成		
主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・区自治協議会との協働 ・コミュニティ協議会との協働 ・質の高い市民サービスの提供 ・区独自の人材育成事業の推進 		

取組結果	<table border="1"> <tr> <th>主な取組の指標達成状況</th> <th>設定数</th> <td>5</td> <th>達成数</th> <td></td> </tr> </table>	主な取組の指標達成状況	設定数	5	達成数	
	主な取組の指標達成状況	設定数	5	達成数		
今後の方針						

1 人と人がつながり、安心・安全に暮らせるまちづくりを推進します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価
				項目(単位)	H24実績	H25実績	H26実績	H27目標			
1	西区健康福祉課	高齢者等が住み慣れた地域で安心して生活できる仕組みづくりを進めます。	・高齢者等あんしん見守り活動事業 ・高齢者を地域で支えるモデル事業 ・孤立ゼロ作戦訪問事業	高齢者等あんしん見守り活動事業(実施自治会数累計)	3	9	11	19			
2				高齢者を地域で支えるモデル事業(実施団体数)			3	6			
3				高齢者世帯への訪問(1人暮らし高齢者世帯訪問数) (高齢者のみ世帯訪問数(1人暮らし世帯を除く))		454	384	対象世帯の全て 対象世帯の約半数	・介護サービス受給者等を除く75歳以上の高齢者のみ世帯を訪問、実態を把握し、必要なサービスにつなげる。 (訪問対象世帯は、今後精査) ・新たに75歳となる1人暮らし世帯を、おおむね200世帯と想定、訪問は、熱中症予防訪問事業で実施する。 ・高齢者のみ世帯(1人暮らしを除く)を、おおむね1400世帯と想定、2か年で訪問する。		
4	西区健康福祉課	健康寿命の延伸を目指し、健康づくりを推進します。	○いきいき高齢者を目指そう作戦 ・高齢者転倒予防教室 ・高齢者の体操教室 ・高齢者体操自主活動支援講座 ・ウォーキング講習会 ・自ら進める健康づくり教室 ・健康づくり講座	ウォーキング講習会等 ・参加者延べ人数(人)		167	219	275		・ウォーキング11回 新潟大学との連携により、「初心者向け」と「経験者向け」で実施する。 ・総おどり体操など3回	
5				介護予防教室及び自主グループ育成支援 ・参加者延べ人数(人)		760	805	830	介護予防教室及び自主グループ育成支援は、延べ回数で78回を予定		
6	西区健康福祉課	子育て中の親の孤独感、不安感を軽減させ、健全な子育てを支援します。	○しあわせ親子育成事業 ・育児支援プログラムの実施 ・子育て情報誌の発行	支援プログラムの参加者数(組)		25	48	65		・BP(ベビープログラム)プログラム:初めて親となった2~6か月児の親子を対象 ・NP(Nobody's Perfect)プログラム:1歳~3歳児の親子を対象 ・会期数は5回を予定	
7	西区総務課	災害対策として、津波浸水想定や液状化しやすいデータの活用など、地域の避難マップづくりを行います。	・コミュニティ協議会の会議などで説明 ・作成計画に基づき、各地域に直接働きかけ	地域の避難マップ(データ)完成数	3	0	3	10		・自治会・町内会やコミュニティ協議会を単位として作成する。 ・ワークショップを開催し、地域の方の情報や意向を取り入れ作成する。	

2 都市と農村が融合するまちづくりを推進します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価
				項目(単位)	H24実績	H25実績	H26実績	H27目標			
1	西区農政商工課	西区特産品の首都圏での知名度向上と消費拡大を図ります。	・ネスパス、市場関係者会議などのPR	首都圏向けPRの取組(回)		2	6	8		ネスパス 市場関係者会議 首都圏百貨店販促 など	
2				ネスパス来場者数(人)		5,000	19,000	20,000			
3	西区農政商工課	農工商連携による「くろさき茶豆」や「いもジェンヌ」などの特産農産物の高付加価値化による生産拡大と消費拡大を図り商店街の活性化にもつなげます。	・くろさき茶豆初出荷時に大野町商店街でPRイベントの開催 ・いもジェンヌ生産面積拡大支援と商品開発支援	「くろさき茶豆夏の陣」での茶豆販売量(kg)				50		26年度 23件・1.3t	
4				いもジェンヌペースト取扱件数及び量				25 2.0t			
5	西区農政商工課	都市と農村の交流と地場農産物の周知を図り、消費の拡大を図ります。	・特産品ごとに農業まつりを開催	農業まつり来場者数(人) ・すいかまつり ・新米・大根・ねぎの収穫祭	8,500	10,000	11,000	11,000		すいかまつり 6,500 新米・大根・ねぎの収穫祭 4,500	

3 だれもが学び合える学術と文化のまちづくりを推進します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価
				項目(単位)	H24実績	H25実績	H26実績	H27目標			
1	西区地域課	だれもが学び合える学術と文化のまちを推進するため、様々な分野で大学と連携して事業を実施します。	・西区アートプロジェクト(音楽・造形) ・いきいき高齢者を目指そう作戦 ・飛砂対策 など(西区各所属分)	大学との連携事業件数	25件	24件	26件	26件		・西区各所属が大学と連携して行う事業数	
2	西区地域課	地域特性を生かした新たな文化創造の支援とスポーツ振興を図るため、大学や地域と連携し住民が親しみやすい事業を実施するとともに、西区の一体感の醸成を図ります。	・西区アートプロジェクト(音楽・造形) ・西区スポーツ応援プロジェクト ・西区ふれあいまつり(期間:1日)	アートプロジェクト及びスポーツ応援プロジェクト参加者人数、ふれ!ふれ!西区ふれあいまつり来場者数	11,261人	10,672人	10,623人	11,000人		・地域と大学連携プロジェクト音楽・造形部門(4,900人)、スポーツ応援プロジェクト(1,958人)、ふれあいまつり(4,142人)の参加者(来場者)数	

4 豊かな自然と快適な住環境を大切にすまちづくりを推進します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価
				項目(単位)	H24実績	H25実績	H26実績	H27目標			
1	西区地域課	自然環境の保全と活用を推進するため、佐潟に関連する活動の支援等を通じて、環境保全意識のさらなる定着を図るとともに、交流人口の拡大を目指します。	・佐潟ボランティア解説員制度の運用 ・佐潟水鳥・湿地センターを拠点とした啓発活動の実施 ・各種イベントでのPR ・里潟づくりの推進	佐潟水鳥・湿地センターの来館者数	67,603人	62,557人	69,858人	71,000人		・平成27年度～ 潟環境研究所、水と土の芸術祭2015との連携を予定。 ・H27目標値は前回水と土の芸術祭会場時の来場者数を考慮。	
2	西区区民生活課	コミュニティ協議会等が実施する西区一斉クリーンデーに協力・支援を行うなど、環境美化に努めます。	・ポスター・チラシの作成・配布、広報紙への掲載など ・ごみ袋等の配布、ごみ回収の依頼等	西区一斉クリーンデーへの参加人数(人)	4,767	5,630	5,586	5,700		・各コミュニティ協議会や自治会、新潟大学の実行委員会等が参加	
3	西区農政商工課	赤塚地区の「北国街道」沿いや黒崎・内野地域にある観光資源を活用し、観光客の誘客を図ります。	・北国街道ボランティアガイドを活用したまち歩き 西区・西蒲区連携ツアーの実施 ・黒崎及び内野地域ボランティアガイドを活用したまち歩き	中原邸一般公開時のまち歩き、西蒲区との連携ツアー、黒崎・内野地域のまち歩き実施(回)		3	7	10		中原邸一般公開 春・秋各2回 西蒲区との連携ツアー 春・秋各2回 黒崎・内野地域 各1回	
4				ボランティアガイドの案内人数(人)		350	765	860			
5	西区農政商工課	海岸保安林の保全・育成のため、保安林保全活動を行うボランティア団体やコミュニティ協議会等を支援します。	・保安林内の清掃 ・枝落とし ・松葉がき ・保安林の指導、上記に必要な物品等の貸出	活動団体数	8	8	10	11		ボランティア団体9 コミュニティ協議会・自治会2	
6	西区建設課	小針青山海岸周辺地区における緊急輸送路の機能を確保するため、国道402号の飛砂対策を講じます。	・人工堤防の築造、法面安定処理、海浜植物の植栽 ・飛砂防止柵の設置 ・効果の検証	人工堤防築造延長(m)			260	100			

5 地域と区役所が共に歩むまちづくりを推進します。

No.	担当所属	組織目標	主な取組(事業)	指標					補足・参考指標	目標達成状況	評価
				項目(単位)	H24実績	H25実績	H26実績	H27目標			
1	西区地域課	区自治協議会との協力を推進するため、地域課題の解決に向けてさらに連携して取り組むとともに、区民の認知度向上を図ります。	・広報紙発行の支援	区自治協議会広報紙の発行回数	4回	4回	4回	4回		・区自治協議会の取組を紹介する広報紙(各戸配布)の発行回数	
2	西区地域課	地域における自治を推進するため、コミュニティ協議会の事業支援を行うとともに、コミュニティ活動に関わる講座・研修会等を実施します。	・コミュニティ協議会が実施する事業の支援 ・自治会研修、地域デザイン講座、同シニア版等の実施	事業支援件数	7件	7件	8件	8件		・事業提案、企画参画、共同開催等の件数 ・地域デザイン講座、コミュニティ協議会等を対象とした講座・研修会等の実施回数、及び同参加者数(平成27年度～指標追加)	
3				講座・研修会等の実施回数及び参加者数(延べ)	15回	18回	22回	18回 270人			
4	西区区民生活課	市民ニーズに的確に応じられるよう窓口対応の充実に努め、市民サービスの向上を目指します。	・フィールドイノベーション活動 ・スキルアップを目的とした、業務に関する研修の受講	窓口アンケート年度平均点(点)	4.46	4.56	4.59	4.60		・5点満点	
5	西区総務課	「地域と区役所が共に歩むまちづくり」を推進するため、区独自の人材育成を実施します。	・窓口対応実地研修 ・接遇能力向上研修 ・新規・異動職員研修 ・応急手当講習 ほか	区独自の研修会実施回数	11	20	25	25			